

たんぽぽ

新病院誕生のご報告



施設長
長尾昌壽

滋賀病院は、平成26年4月1日から独立行政法人になりました。国の土地建物等の資産は新たに設立された独立行政法人地域医療機能推進機構（以下「新機構」）に移管され、運営も新機構が直接行うことになり、従来の「公設民営」から「公設公営」へと経営形態が変更になりました。

このことにより名称も、病院は「独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院（略称…地域医療機構滋賀病院）」となり、併設していた介護老人保健施設は「独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院附属介護老人保健施設（略称…滋賀病院老健）」となりました。

新機構傘下の病院は全国に57病院（別表参照）あり、新機構の使命として次の4項目を掲げています。即ち、①地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支える。②地域医療の問題の解決・情報発信を通じて全国的な地域医療・介護の向上を図る。③地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民の健康意識の向上に寄与する。④独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ、透明性が高く、自立した運営を行う。

たんぽぽ 第1号
平成26年4月1日発行
独立行政法人
地域医療機能推進機構
滋賀病院附属
介護老人保健施設
大津市富士見台16-1
TEL(077)537-3102
FAX(077)537-3629

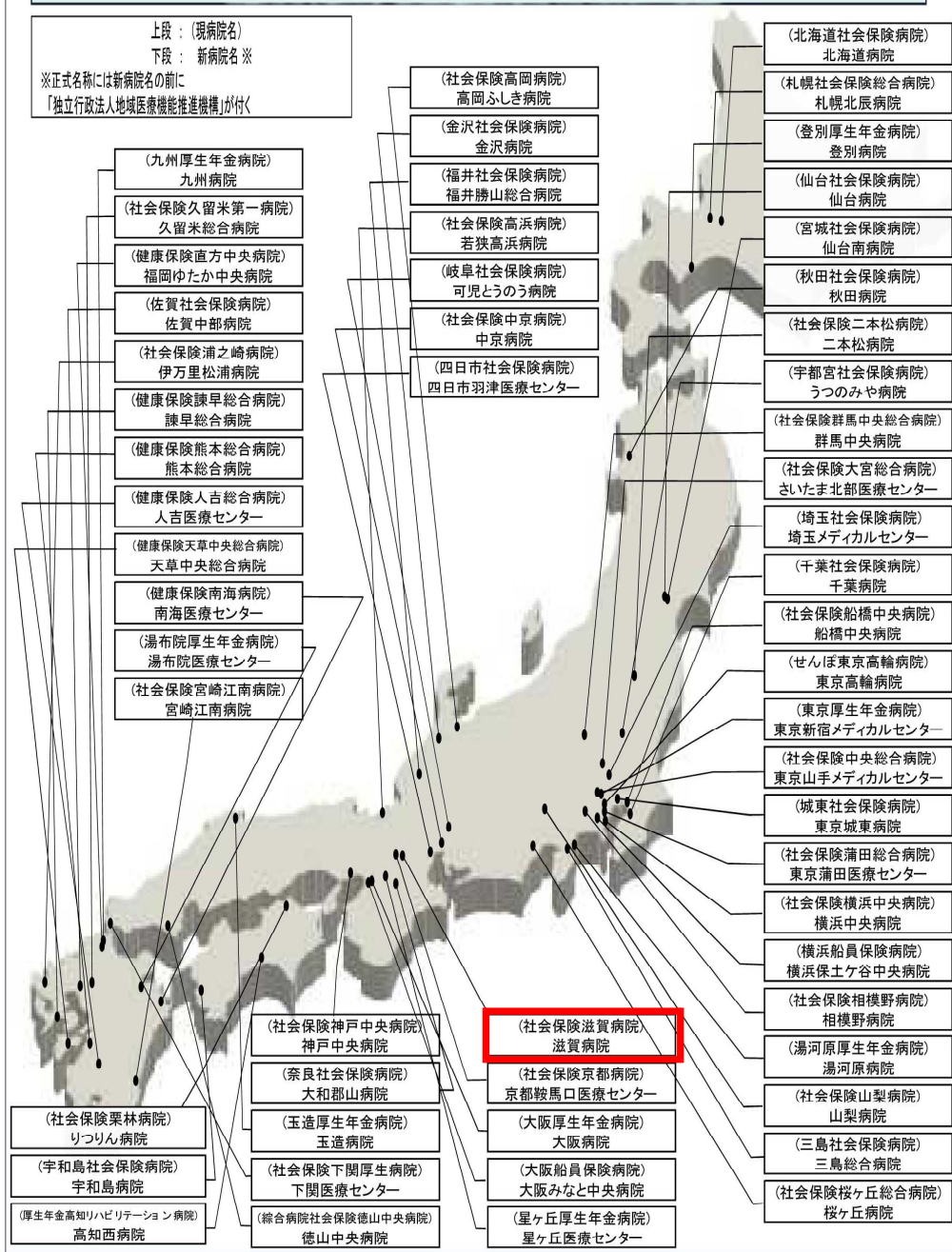
利用者の状況 (1日平均)

入所	
1月	96.0人
2月	96.3人
3月	93.7人
通所	
1月	25.5人
2月	23.1人
3月	26.7人

また、それぞれの病院の使命として、「地域のニーズ、病院の実績・特色を踏まえ、地域における連携を強化し、5疾病5事業（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療、等々）、リハビリテーションをはじめ、地域住民の多様なニーズに応え、地域医療、地域包括ケアの充実に一層貢献する。」こととして、います。

皆様方には倍旧のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地域医療機能推進機構（JCHO）に生まれ変わった病院



節分祭

平成二十六年二月五日に節分祭が行われました。開催と同時に二匹の青鬼と赤鬼が現れて利用者の皆様を驚かせました。しかし、『鬼は外、福は内』と大きな声を掛けながら、鬼に向けて投げた、たくさんのお豆に見立てた玉が見事に鬼に命中して追っ払うことが出来ました。

鬼退治を終えた後におひとよし様による人形劇が行われ、『おむすびころりん』をご披露いただきました。

人形劇の終盤で、よくばりじいさんが最後改心されるシーンまでの間、真剣に見て、楽しんでおられました。そして劇が終わった後に『焚き火』を熱唱され、楽しいひと時を過ごす事が出来て良かったです。

最後に雪の降る寒い中、当施設にお越し頂き人形劇をご披露下さいましたおひとよしの皆様有難うございました。

大槻 篤史

